

1.実習日程

皮膚科

曜日	集合時間	内容	担当	集合場所
月	8:50	イントロ・外来実習	金澤	1号館2階皮膚科外来
	12:00	昼食		
	13:30	アレルギー外来実習	夏秋	1号館2階皮膚科外来
	16:00	略語解説	金澤	8号館6階カンファレンス室
火	8:45	外来実習	夏秋	1号館2階皮膚科外来
	12:00	昼食		
	13:30	病棟患者検討会	金澤／永井	8号館6階カンファレンス室
	16:30	症例検討・手術症例検討会	永井／和田	8号館6階カンファレンス室
水	8:45	外来実習	和田	1号館2階皮膚科外来
	12:00	昼食		
	14:00	臨床写真500問自習	—	8号館6階カンファレンス室
		レポート準備		
木	8:45	手術見学	永井	急性医療総合センター4階手術センター
	12:00	昼食		
	15:00	皮膚外科ビデオ・講義	林	8号館6階カンファレンス室
	16:00	皮膚科クルズス（にきび）	黒川/ビデオ	8号館6階カンファレンス室
金	11:00	レポート発表	村田	8号館6階カンファレンス室
	12:00	昼食		
	14:00	国試対策・臨床写真500問解説	井上	8号館6階カンファレンス室
	16:30	皮膚科臨床病理検討会	金澤／夏秋	8号館6階カンファレンス室

◎診療科名：皮膚科

◎責任者氏名：金澤 伸雄 主任教授

◎教育担当教員氏名：夏秋 優 臨床教授

◎実習概要 1. 検討会（病棟患者・手術症例・臨床病理）、2. 外来実習（初診、アレルギー検査、光線療法、皮膚外科）、3. クルブス（臨床写真・ざ瘡）、4. 手術見学、5. レポート作成などを行い、皮膚疾患の的確な診断と治療方針立案の習得を目指す。

◎到達すべき学修成果（アウトカム）

- ・発疹学の医学用語を用いて、正しく皮膚症状を伝えることができる。
- ・主要な皮膚疾患について診断ができる。
- ・主要な皮膚疾患の病態を理解し、説明できる。
- ・皮膚疾患患者に対する基本的な問診、診察が実施できる。
- ・皮膚疾患の基本的な検査、治療法を理解し、実施できる。
- ・皮膚疾患の治療計画を立てることができる。
- ・患者の社会的、心理的側面を理解し、患者の立場に立った対応ができる。

◎卒業時アウトカムとの関連

教育要項別表参照。

◎事前学修内容（時間）

- ・3年次の講義資料、皮膚科参考書の内容をよく復習しておくこと（2日）
- ・皮膚科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

◎評価方法

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患の治療を説明できる。	代表的な疾患の病態を説明できる。	代表的な疾患の概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
技術	発疹・徴候に基づいて診断ができる。	発疹・徴候を適切に記述できる。	発疹・徴候を説明できる。	一部の発疹・徴候を説明できる。
態度	積極的で質問もよくする。	積極的。	やや消極的。	消極的で質問がない。

◎パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

レポート発表 mini-CEX

◎注意事項

- ・実習の前の週のうちに、実習用プリントを皮膚科医局（８号館６階）まで取りに来ること
- ・外来実習は８時４５分（月曜日のみ８時５０分）までに、皮膚科外来に集合すること
- ・必ず３年次の講義資料、参考書を持参すること
- ・実習は、必ずしも時間通りに終了するとは限らないことを承知しておくこと
- ・午後の外来実習、クルズスなどは、開始時間など各指導教員に予め確認しておくこと
- ・実習期間中の休日は、各自自習とする